

(公表用)

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成25年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
25-4	道路橋示方書の改定を踏まえた性能設計概念に基づく設計照査手法についての研究開発—特に下部構造物を中心として	新潟大学 准教授 大竹 雄	A
<p>&lt;研究の概要&gt; ※成果報告レポートより引用</p> <p>今後予定されている道路橋示方書の改訂に向けて、道路橋の下部構造に対する性能設計の導入と合理的な部分係数の決定方法について検討を行い、具体的な手法を提案した。具体的には全国の地盤調査データを用いて解析を行うことにより地盤変形係数と杭基礎の水平地盤反力係数の新しい推定法を提案し、信頼性理論に基づいた抵抗係数の決定方法を提案した。また、設計実務者が自ら信頼性解析を行えるよう、例題に基づくマニュアルを作成した。</p> <p>&lt;事後評価結果&gt;</p> <p>地盤という不確実性の高い対象に対し、多くの現存データから道路橋示方書改定へ大きな方向性を与えている。性能設計の導入に向けた道路橋示方書改定のための基礎的資料を提示するという目的は達成されており、また成果の活用が十分期待できることから、当初の目的に適った十分な成果が得られたものと評価する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 本研究成果の道路橋示方書などへの反映にあたっては設計実務への影響を十分に考慮して対応することが必要である。</li><li>2. 本研究成果が活用されることにより構造物の設計が今後どのように変化していくのか、さらに建設・維持管理コストの縮減に関する議論などへの研究の発展を期待する。</li><li>3. 性能設計の導入・普及に貢献する成果が得られた。本研究で作成されたマニュアルが難解であることから、一般の実務者向けの分かり易いマニュアルが作成されることを期待する。</li></ol>			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第29回新道路技術会議において審議したものである。